

HELICS 協議会  
2011年度事業計画

1. 理事会および審査委員会：

標準化指針の審査：申請のあった標準案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて審議し、目的ごとに使用すべき標準規格を採択し、「医療情報標準化指針」を策定する。

2. 標準化委員会：

(1) 各団体からの申請以外に、JJ1017 指針と IHE 協会関連の XDS.b と XDS-I.b、ATNA+CT、PIX+PDQ などについて申請可能かどうか各団体と調整し、可能であれば指針申請を依頼し、指針のカバーする範囲を調整する。また、すでに HELICS 規格となったものについても、更新などその後の運用に問題がないか検討する。

(2) 毎年すでに採択した標準化指針について、申請団体に検討を依頼し、必要に応じて更新申請を行うよう指導する。

(3) 標準化委員会を定期的開催し、標準化の現状について調査するとともに、本協議会の長期的な標準化方針の策定、標準規格の提案勧告などを行う。

(4) 標準化の必要性がありながら標準化の策定が着手されていない分野を調査するために、外部機関等に委託して広く標準化に係る情報の収集（アンケートの実施）を行い、それを整理する。（100万円の調査費を計上）

3. 広報委員会：

(1) 情報の提供：標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」を作成する。また、HELICS 協議会のホームページを整備し、HELICS 指針の解説としての標準化レポートを掲載して、標準化活動の推進と啓蒙に努める。

(2) 標準化の普及を目的としてシンポジウム等の開催

第10回 HELICS シンポジウム（2011年6月17日）、第11回

HELICS シンポジウム（2011年11月20日予定）を医療情報学会時に開催する。

（3）HELICS 協議会の活動を説明するパンフレットを作成し、関連団体や学会で配布する。また、同時に入会案内も配布する。

（4）ホームページの整備

（5）必要に応じて、HELICS ニュースを発行する。

#### 4. 委員会の開催

（1）標準化委員会 10回／年を予定。

（2）広報委員会 10回／年を予定。

（3）審査委員会 4－6回／年を予定。

（標準化指針が申請数による）

**HELICS協議会**  
2011年度(平成23年度)収支予算 (2011.4.1~2012.3.31)

2011. 07. 08  
(円)

1 収入の部

科 目	2010年度決算額	2011年度予算額	備考
1.財産運用収入	0		
2.会費収入			
正会員	200,000	200,000	5万円×4団体
幹事会員	600,000	600,000	10万円×6団体
3.事業収入	0		
4.雑収入	862		受取利息
小計	800,862	800,000	
前年度繰越金	3,632,293	3,282,159	
当期収入合計	4,433,155	4,082,159	

2 支出の部

科 目	2010年度決算額	2011年度予算額	備考
1.事業費			
シンポジウム	37,220	150,000	会場費、講師旅費など
標準化活動	134,214	1,200,000	会議費・旅費、調査費(アンケート費用)
広報活動	480,330	800,000	会議費・旅費、HELICSニュース、パンフレット、HP
審査委員会	152,280	300,000	会議費・旅費など
2.管理費			
会議費	191,292	200,000	理事会・総会会場費
交通費	94,060	150,000	理事会・総会旅費など
印刷費	0	30,000	資料等コピー代
消耗品費	0	10,000	事務用品代
通信運搬費	0	10,000	切手、郵便代
雑役務費	61,600	70,000	振込手数料、事務局経費
3.予備費	0	20,000	
小計	1,150,996	2,940,000	
次年度繰越金	3,282,159	1,142,159	
当期支出合計	4,433,155	4,082,159	